

業績目録記入要領

1. 業績目録は次のように分類する。

I 原 著	(様式2の1-1)
症例報告(剖検例など)	(様式2の1-2)
II 総 説	(様式2の2)
III 著 書(分担執筆も含む)	(様式2の3)
IV その他	(様式2の4)
V 国内外の招待講演	(様式2の5)
VI 国際学会発表	(様式2の6)
VII 特許等	(様式2の7)
VIII 研究助成一覧	(様式2の8)

2. 記載要領

- (1) 英文等, 和文の別に年代の新しいものから順に記入する。
- (2) 原著, 総説の記載に当たっては, 特に, 次のことに注意する。
 - ① 著者名は, 論文と同じ順に全員を記入し, 本人の氏名にアンダーラインを付する。
 - ② 学位論文は, 番号を○で囲む。
 - ③ 表題は省略せずに記入する。
 - ④ ページは初ページ及び終ページを記入する。
 - ⑤ 投稿中の論文については, 既に受理されて印刷中のもののみ記載する。
(印刷中のものについては, 受理証明書(写)を添付する。)
 - ⑥ 英文原著では, corresponding authorに*の印を附記する。
- (3) 著書も分担執筆の際は, 分担項目を明らかにする。
- (4) 症例報告の記載方法については, 原著に準じる。

3. 業績の取り扱い

- I 原 著 : 原著とは独創的な実験, 観察などについて最初に印刷公表したものであって, 緒言, 方法, 結果, 考案, 総括などの形式をとるものをいう。
- 注1) 原著は, レフリー制度の確立された学術誌に掲載されたものをいう。
学会発表等の記録は, 原著の中に含めない。
- 注2) 和文で既発表のものを英文等で発表したときは, その対応関係を(注)で明らかにする。

症例報告

- 注1) 多数例の解析及び少数例であっても, 研究的解析を伴うものは, 原著に入れる。
- 注1) 「臨床講義」のように, 教育啓蒙的なもの, 及び「○○教室10年間の○○症例」のようなものは, 特に重要なものを「IVその他」に入れる。

IV その他 : 特に重要なもの以外は省略する。

V 国内外の招待講演 : 国内及び国際学会における特別講演, 教育講演, シンポジウム, ワークショップ等。